

2019年度 特別研究推進費実績報告書

2020年 4月 30日

北九州市立大学長 様

(所属・職名) 基盤教育センター ・ 准教授
(氏名) 廣川祐司

2019年度に交付を受けた特別研究推進費に係る研究実績について、
次のとおり報告します。

研究課題名	「生活空間の観光地化」に対応する地域住民の行動指針に関する研究 ～コモンズ研究における「開閉論」からの視座～					
実施内容・ 研究成果の 要旨 (概要書を 別途添付)	<p><研究目的> 地域の生活空間を「地域住民の共有財産」として認識し、地域社会への外部者（観光客）の流入による弊害を、地域住民が主体となって解消しうる地域システムの構築方法を明らかにすること。</p> <p><調査対象地> 新しい「市民社会型コモンズ」を模索する上で、以下の3つの地域（事例地）を調査することを申請時に明示している。 ①熊本県の政策を実施している天草市（天草市牛深町） ②京都市の京町家（姉小路界限・有隣学区） ③沖縄の集落（宮古島市狩俣集落） また、申請時には、未記載であったが、追加で調査をした事例 ④静岡県静岡市大沢集落 ⑤熊本県美里町</p> <p><研究成果の公表> ⑥「第1回行橋市まちづくり勉強会 ～水島信氏をお招きして～」 ⑦「全国フットパスの集い in 豊岡」 ⑧「カレッジフットパスフォーラム2019 in 東近江市」</p> <p>※研究成果の一部は、下記の報告書の一部にも記載しているため、研究の概要書（添付資料）に合わせて提出する。 ・ 廣川祐司（2020）「2019年度行橋市中心市街地活動成果報告書」廣川ゼミ(地域創生学会)発行。 ・ 廣川祐司・中尾泰士（2020）「農泊推進事業、人材活用事業及び施設整備事業における、新たな観光形態としての『フットパス×宙ツーリズム』という地域滞留着地型観光の検証・開発『調査研究活動報告書』」。</p>					
	合計	使用内訳（単位：円）				
交付決定額	596,000	備品費	消耗品費	報酬	その他	旅費交通費
支出額	516,235	0	42,500	36,240	56,425	381,070
執行残額	79,765					
共同研究者	所属・職名		氏名		役割分担等	